



『活動のかがやき』

小川久子支部長
(原道地区会長兼務)

酷寒の日々でしたが、陽だまりには梅のつぼみが膨らみ春の足音が近づいて来ました。

皆様こんにちは大利根母子愛育会です。今年も皆様のご協力をいただき地域に根差した健康づくりを目的としたヘルスポランティアとして活動しますのでよろしくお願い致します。

近年は核家族化、女性の社会進出で種々の活動も困難を耳にする事もありますがそれぞれの地域で工夫をしながら、子育て支援、友愛訪問、声かけ、三世代交流、健康まつり、伝統行事七夕祭等々愛育会活動に取り組んでおります。

特に広報部ではパネル展で実例を表現し、情熱を持ってお知らせ発表に力を入れております。日々変化する社会情勢の中で高齢者や子供達が安心して生活できる地域づくりに保健師と相談をしながら声かけを続けていきたいと思っております。



『共助のところで』

篠塚妙子名誉会長

愛育班活動は地域に根ざしそれぞれによく活動しています。今、基本的に立ち返り①声かけ②見守り活動など、少子高齢化という現状と各地域の特色を生かした活動を心がけています。高齢者も独り暮らしが多く、取り巻く環境も変貌しております。今、認知症の増加を聞き、このような病気の理解と対策を私達も考え、特に認知症高齢者の方が安心して生活できるようなまちづくりに取り組む必要性を感じます。愛育会として認知症と地域で抱える問題を理解し、色々な場で共に助け合い(共助)の心を持ってやっていかなければならないと思っております。また、高齢者の方々が自立して生活でき、「やってくれない」のくれない族にならない生き方が出来るようにお互い支えあっていきたいと思っております。

大利根保健センターより

日頃より愛育会の皆さまには育児教室、特定健診、がん健診等においてお手伝いをいただきありがとうございます。おかげさまで優しさの中にも機敏で確実な対応により、すみやかに保健事業が実施できております。保健センター職員一同とても感謝しております。また日々の皆さまの活動には常に元気と思いやりと溢れる笑顔があります。だからこそ地域で暮らす市民も安心し、元気で生活されていることと思っております。これからも地域の方々に頼られ、愛される愛育会が、ますますご活躍されることを期待しております。

第45回 埼玉県母子愛育会のつどい

H25.2.12 埼玉会館にて

～どの子にも 夢と希望と 輝く笑顔～

講演「地域の子育て支援に期待するもの」

茨城県立医療大学 山口 忍 教授

母親になることの良さ、この地域にいることの良さを伝えてほしい。また出番感・居場所感・やりがい感の3つを大切に大変貴重な活動を後輩に伝えてほしいとのことでした。

東地区会長の中村千鶴子さんが母子愛育会埼玉県支部長表彰を受賞されました。

おめでとうございます。



友愛訪問

(原道地区)

私が愛育会に籍を置き友愛訪問を初めて2年近くになりました。

主に70歳以上の一人暮らしの方を対象に地区ごとに訪問しています。特に高齢者は、体温調節機能が低下してしまうようなので、夏は熱射病予防を、冬は感染症予防を中心に訪問をしています。

最初は「どこの人？」という表情で私達を迎えていましたが、訪問回数が重なるに連れて、表情も穏やかになりミネラルウォーターや薬用石鹸を持って伺うと「私は、朝早く仕事して昼間は家の中にいるのよ」と笑顔で話してくださりました。

友愛訪問を通して、お年寄りの笑顔を見ていると声掛けをしながら見守ることの大切さを深く感じています。

